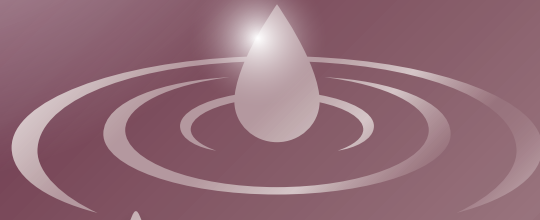


F★★★★

ホルムアルデヒド放散等級



ALES

DYNAMIC PRESSURE II

全天候形 水性エポキシハイブリッド樹脂系防水多機能プライマーサーフェーサー

アレスダイナミックプラサフⅡ

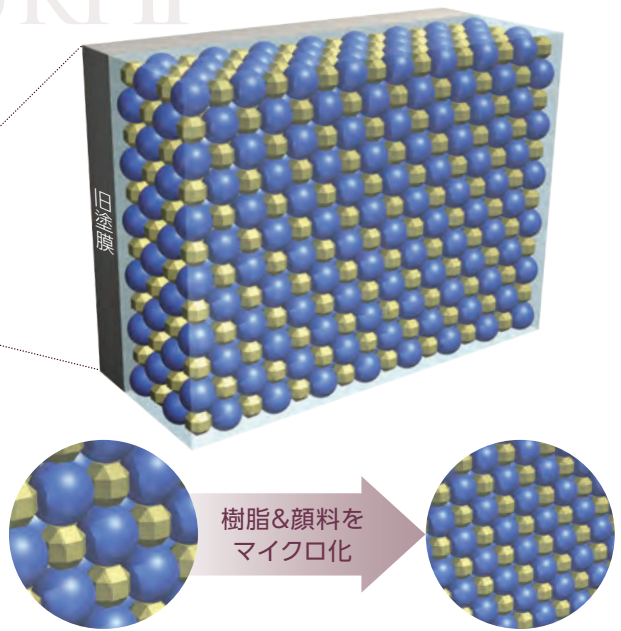
劣化した外壁の塗替えは下地作りが重要

関西ペイントのハイブリッドテクノロジーにより、
シーラー機能と中塗機能を兼ね備えたプライマーサーフェーサーが大切な建物を護ります。



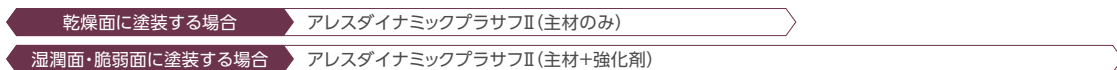
ALES
DYNAMIC
RESURF II

従来のダイナミックレジンにエポキシ樹脂をハイブリッド化
**エポキシハイブリッド樹脂により
耐久性が向上**

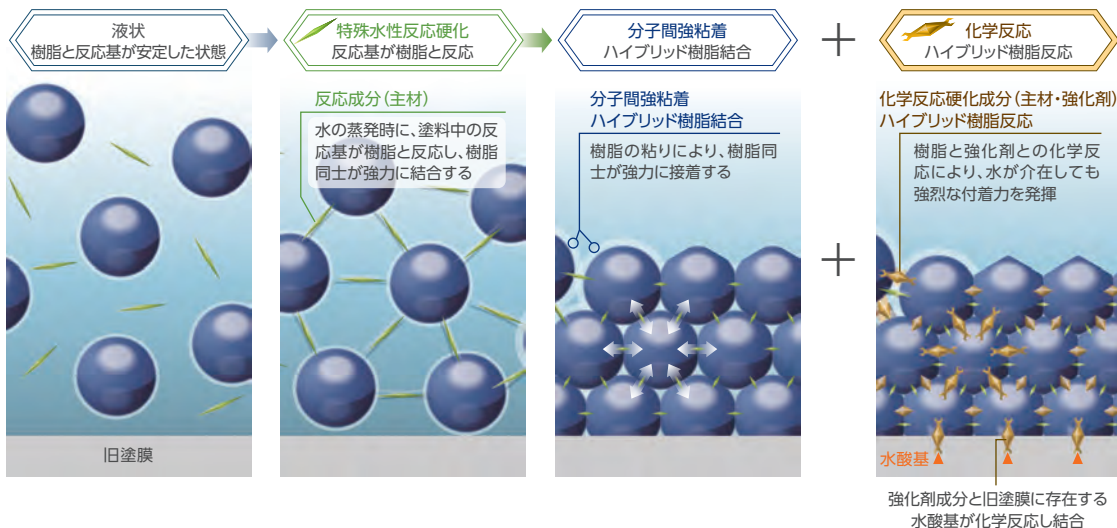


エポキシハイブリッド樹脂による優れた付着性

下地に対し高い付着力を有し、ダイナミック共通強化剤を使用することで付着力がさらに向上します。
乾燥面は主材のみでの施工が可能で、湿潤面は主材にダイナミック共通強化剤を混入することで施工可能です。



エポキシ
ハイブリッド
樹脂結合
×
化学結合

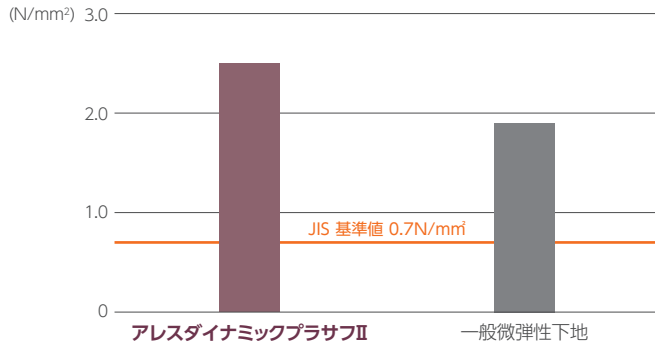


ハイブリッド樹脂とマイクロパウダーのハイブリッド技術により緻密な塗膜を形成し、付着性と防水性能が向上します。

付着性

旧塗膜:アクリル樹脂系水性上塗り塗膜

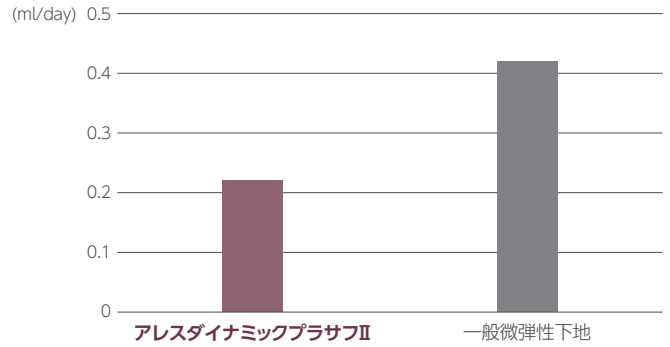
■付着試験 JIS基準値 0.7N/mm²



防水性

上塗:アレスダイナミックTOP

■JIS A 6909 透水性 (中毛ローラー塗装)

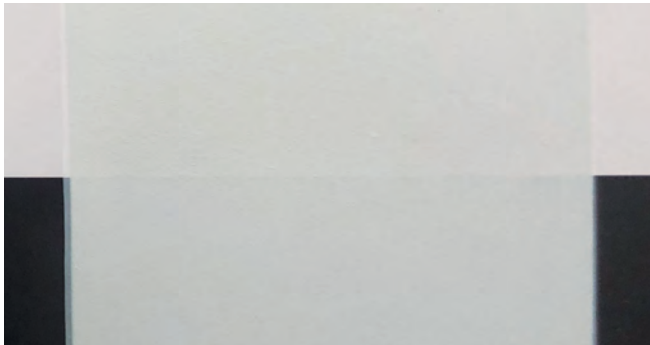


※各塗装方法で想定される膜厚で試験。ロートを使用した弊社透水性試験による結果。

優れた仕上り性

従来の下地材より隠ぺい性が格段に高く、きめ細かい緻密な肌を形成しますので、上塗の仕上り(光沢感)が一層向上します。

■JIS A 5600 隠ぺい性 (試験紙への塗装による比較)



アレスダイナミックプラサフII



一般微弾性下地

■アレスダイナミックTOP (上塗) での仕上り比較



アレスダイナミックTOP (上塗)
アレスダイナミックプラサフII



アレスダイナミックTOP (上塗)
一般微弾性下地

マイクロパウダーにより、なめらかで高光沢な仕上りに。

■ アレスダイナミックブラサフII 標準塗装仕様

荷姿：アレスダイナミックブラサフII 主材:15kg、アレスダイナミック共通強化剤:0.08kg×1

工程	塗料名・処置	塗装方法	標準所要量(kg/m ² /回)	希釈率(重量%)	塗装間隔(23℃)
素地調整	劣化した旧塗膜をディスクサンダー、スクレーパー、皮スキ、ワイヤーブラシを用いて除去する。エフロ・レイトランス・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを使用して除去する。モルタルの場合、浮き・クラックなどは適切な処置を行う。必要に応じてシーラーを塗装する。				
下塗	アレスダイナミックブラサフII ※1※2 2液の場合(ベース/15kg,強化剤/0.08kg×1缶) 上水	中毛ローラー	0.25～0.40	無希釈※1	乾燥面：4時間以上7日以内 湿潤面：8時間以上7日以内
上塗1回目※3	アレスダイナミックTOP 上水	ハケ・ローラー	0.12～0.14	3～5※4	2時間以上7日以内
上塗2回目※3	アレスダイナミックTOP 上水	ハケ・ローラー	0.12～0.14	3～5※4	2時間以上7日以内

※標準所要量は、被塗物の形状や下地の状態、塗装方法、環境などによって増減することがあります。

※1 冬場など塗料粘度が高い場合は、上限2%まで希釈可能(上水)です。これ以上に希釈すると隠蔽性が低下したり、ひび割れ等が生じたりする恐れがあります。

※2 湿潤面に塗装する場合は、必ず強化剤を使用してください。乾燥時間が乾燥面に比べ2～3倍程遅くなります。 ※3 旧塗膜が塗料用シンナーA(V)で容易に溶解する場合、水性の上塗塗料を適用してください。

※4 アレスダイナミックTOPつや消しの希釈率は0～10%です。

適用下地

窯業系サイディングボード、コンクリート、モルタル※ など

※コンクリート・モルタルは、アレスダイナミックシーラーアクア等の下塗を塗装してください。

【シーラーを使用する場合】

アレスダイナミックシーラーアクア：15kgセット(ベース/12.5kg,硬化剤/2.5kg)

アレスダイナミックシーラーマイルド：15kgセット(ベース/12.5kg,硬化剤/2.5kg)

マルチタイルコンクリートプライマーEPO：20kgセット(ベース/16kg,硬化剤/4kg)

※施工上の注意事項をご参照ください。

適用旧塗膜

リシン、スタッコ、吹付タイル、単層弾性、アクリル樹脂系塗料、ウレタン樹脂系塗料、エマルジョン塗料 など

【適用上塗】

●水性上塗

アレスダイナミックTOP：15kg、アレスダイナミックMUKI：15kg、

アクアセラシロンOne：15kg、ダイナアクセル：15kg、コスモシリコン：15kg

●弱溶剤上塗

アレスダイナミックMUKIマイルド：15kgセット(ベース/12.9kg,硬化剤/2.1kg)

アレスダイナミックTOPマイルド2液：16kgセット(ベース/13.7kg,硬化剤/2.3kg)

セラムレタン：16kgセット(ベース/14.5kg,硬化剤/1.5kg)

施工上の注意事項

- 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨・結露などで負荷が掛った場合や、低温、高湿度、通風のない環境では、膨れ、はく離、割れ、白化、シミなどが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。
- 可塑剤が多く含まれる部材(塩ビ鋼板、ゴムパッキン、ラミネート、合成皮革、プラスチック、シーリング材など)への塗装は避けてください。粘着や軟化が生ずるおそれがあります。また、これら部材に直接塗膜が接触しないよう注意してください。
- 蓄熱されやすい素材(軽質モルタル、ALC、窯業系サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を用いた「高断熱型外壁」や旧塗膜が弾性リシンや弾性スタッコ、アクリルトップ等の場合、そのまま塗装すると環境条件によっては水や温度の影響で塗膜が膨れたり、剥離が生じることがありますので、旧塗膜は完全に除去してください。
- 綿壁、繊維壁、耐火被覆材(ロックウール)、耐火被覆用けい酸カルシウム板など弱い素材への塗装は避けてください。
- 強溶剤系塗料を上塗するとチヂミ、シワ、リフティングが生ずるおそれがあります。
- 本品のカタログに記載されていない上塗を用いたとき経時で塗膜われ、ハガシが発生するおそれがあります。適用可能な上塗であることを十分確認のうえ決定してください。
- 水性パテ(合成樹脂エマルジョンパテ)は耐水性が劣るため、外部や浴室壁面等に使用すると、早期に塗膜剥離が生ずる可能性がありますので使用しないでください。
- 弾性スタッコへの塗装はできません。
- 気温5℃以下(低温)、湿度85%以上(高湿)での施工は避けてください。
- 屋外において降雨、降雪、強風の恐れがある場合は塗装を避けてください。
- 塗装間隔は環境(温度、湿度、換気回数等)や膜厚によって変わります。
- 塗膜の乾燥硬化過程で、結露や降雨等の水分の影響を受けた場合、塗膜の異状(白化、つや引け、フクレ等)につながる場合があります。水分の影響を受けおそれがある場合は、塗装を避けてください。
- 結露が発生する場所では、塗料中の微量の水溶性成分が表面に溶出し粘着物となって析出することがあります。粘着物は水拭きや水洗で除去してください。
- 塗膜に降雨や結露の影響を受けた場合は、白化やつや引けなどの異状が生じやすくなります。山間部や河川近くなどの夜露の早くおきる多湿地域では、より条件が厳しくなりますのでご注意ください。
- 結露が多発する環境、含水率の高い躯体、漏水箇所の防水処理ができていない場合は、住居者の生活環境等の違いで、塗膜の持つ透湿性以上の水蒸気量が被塗物から発生すると塗膜が膨れることがあります。
- 塗装仕様書に記載の数値は標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件により多少の幅を生じることがあります。
- 塗膜性能を十分に発揮させるために、所定の塗り回数と塗付量確保による施工を行ってください。
- 適用可能な旧塗膜は下地との付着性に問題なく、活膜であることを条件としています。活膜下地(付着強度が0.7N/mm以上)
- 旧塗膜に汚染が残っており劣化していない場合には付着不良や塗り重ねチヂミが発生する場合があります。旧塗膜表面の目荒しを行ない、試し塗りによって確認のうえ塗装を実施してください。
- 吸い込みの著しい下地にはシーラーとして「アレスダイナミックシーラーマイルド」[浸透形Mシーラー]を推奨します。
- 吸い込みの大きい下地や素材に直接塗装する場合は、塗付量が多く乾燥が遅くなりますので塗装間隔を長めにとってください。また、上塗までの塗装間隔が規定よりも短い場合、縮み、割れ、乾燥不良を起こすおそれがありますので注意してください。
- 被塗物の形状、膜厚や色目、塗回数、希釈率の差などにより、実際の艶と若干異なって見える場合があります。また塗継ぎ箇所で艶ムラを生じやすい傾向があります。試し塗りの上、本施工に入ってください。
- 無機系樹脂、光触媒処理、フッ素樹脂、シリコン樹脂など特殊な樹脂で処理された窯業系サイディングボード面に塗装する場合は、シーラーに「アレスダイナミックシーラーマイルド」を塗装してください。なお、事前に試し塗り付着性を確認してください。付着性に問題がある場合は、目荒しを行ってください。
- 新設素材が押出成形セメント板やGRC板の場合には、シーラーに「アレスダイナミックシーラーマイルド」または「浸透形Mシーラー」をご使用ください。

ご使用上の注意事項

- 下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。
- 取扱い作業中**・乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・入り替きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
- 予防策**
- 火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
 - 火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
 - 裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。
 - 本来の目的以外に使用しないこと。
 - 指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
 - 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
 - 取扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
 - 使用済みの容器は、火気、落接、加熱を避けること。
 - 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

- 対応**
- 目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
 - 皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
 - 吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
 - 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
 - 漏出時や飛散した場合は、砂・布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
 - 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。
- 保管**
- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること、子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。
- 廃棄**
- 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと)。
 - 廃棄時は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施工員に対して安全例示に十分に注意を払うように指導してください。
 - 例えば、不特定多数の方が利用される施設などでは、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

北海道 TEL (0133) 64-2424 FAX (0133) 64-5757

東京 TEL (03) 5711-8905 FAX (03) 5711-8935

中国 TEL (082) 262-7101 FAX (082) 264-3285

東北 TEL (022) 287-2721 FAX (022) 288-7073

中部 TEL (052) 262-0921 FAX (052) 262-0981

四国 TEL (0877) 24-5484 FAX (0877) 24-4950

北関東 TEL (028) 637-8200 FAX (028) 637-8223

大阪 TEL (06) 6203-5701 FAX (06) 6203-5603

九州 TEL (092) 411-9901 FAX (092) 441-3339

※本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。

(23年08月02日PKO) カタログNo.950